

国分寺市

校務D X計画

1 I C Tの活用による校務効率化

文部科学省は、令和5年8月に「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」を発出し、同年12月には、「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」に基づく自己点検の実施を各教育委員会及び学校に依頼し、その結果を「「G I G Aスクール構想の下での校務D X化チェックリスト」に基づく自己点検結果の報告について（通知）」として公表しました。これらの提言及び通知の中では、1人1台端末の積極的な活用、汎用のクラウドツールを活用した教職員間での情報交換の励行、会議資料のペーパーレス化、F A X・押印等の制度の見直し及び不必要な手入力作業の削減を掲げています。

これを踏まえ当市は、I C Tの活用による校務効率化について、次のとおり一層の推進を図ります。

- ・デジタルによる児童・生徒の遅刻・欠席連絡の更なる活用を図ります。
- ・児童・生徒や保護者への配布物について、更なるペーパーレス化を図ります。
- ・押印やF A Xの原則廃止には、クラウドツール等をより一層の推進することで、校務の効率化・ペーパーレス化を図ります。
- ・職員会議等の教職員間の会議等においては、資料をクラウド上で共有することでペーパーレス化を図ります。
- ・令和8年度に予定されている統合校務支援システム含めた教育系システム更改の際に、一元的に児童・生徒のI Dを管理、運用する仕組みを導入し、教職員の不必要な手入力作業を削減します。

2 次世代の校務D Xの環境整備について

文部科学省は「G I G Aスクール構想の下での校務D Xについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」の報告書の中で、次世代の校務D Xの方向性を示しています。

当市は、令和8年度当初に教育系システムの更改を予定しており、文部科学省の示す次世代の校務D Xの方向性に基づき、ネットワーク統合や強固なアクセス制御によるセキュリティ対策を講じたシステム環境の整備を行います。あわせて、統合校務支援システムについてもクラウド上に環境の整備を行います。